

★次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

森を見にいくのが、私は大好きです。森といっても人工林ではなく、どんなに小さくてもいいから天然の森のほうが、カンサツするにはいいです。

まず土の表面には苔が生えていますね。その上には草が生きていて、ドングリなどが落ち小さな木のメがでています。その上には灌木があったり、中くらいの木があったり、うんと大きな木があったりします。森には多種多様の植物が生きていますね。これが森の秘密なのです。

大きな樹があると、日かげができて、ほかの木が生きられません。しかし、うまくしたもので、 を好む植物、キノコやシダなどがあります。すべての植物のために、自然はいろんな条件を提供しているということです。

自然というのは、本当に無駄がないのですね。

実際に森にはいってみると、植物の種類は本当にたくさんあります。何種類あるかと、もし数えようとしたら、気がトオくなってしまうのではないでしょう。

こんなに植物の種類がたくさんあるのに、虫たちはどの葉でも食べるというわけではありません。たとえばあるアゲハチョウの幼虫は、カラタチの葉しか食べません。あるチョウの幼虫はキハダの葉しか食べないのです。カラタチもキハダも、森にそんなにたくさんある木ではなく、多種多様に生きている植物のひとつでしかないのです。

2 少ししかない植物をえさによって、虫たちは自分が生きるテリトリーを決め、ほかの虫たちと境界線をつくっているのです。自分たちはこれを食べるから、ほかの種類の虫は違うものを食べると無言で取り決めをし、すみ分けをしているのです。

3 いろんな植物が繁れば、いろんな虫が生きることができるといいうことです。その虫をえさとする鳥や魚が生きていくことができ、ひいては食べる食べら

れるの関係、すなわち食物連鎖しょくもつれんさの輪わが、私たち人間にまで、やがては届とどいてくるといふことです。(立松 和平たてまつ わへい「一人旅は人生みたいだ」所収「はじまりの森」より)

(注) 灌木：ひくい木 多種多様の：さまさまな テリトリー：なわばり
食物連鎖：生き物どうしの、食う、食われるの関係によるつながり

1 線ア～オについて、漢字は読みをひらがなで書き、カタカナは漢字で書きなさい。

ア	イ
エ	ウ
オ	

2 線1に当てはまる言葉を、文中から三字で書きぬきなさい。

--

3 線1「自然というのは、本当に無駄がない」とありますが、どのようなことを指していますか。次の文の□に当てはまる言葉を、文中から六字で書きぬきなさい。

自然の提供する

に合った、

多種多様の植物があること。

4 線2「少ししかない植物をえさにする」とありますが、文中でこのような虫の例は何種類あげられていますか。数字で書きなさい。

--

種類

5 線3「いろいろな植物が繁れば、いろいろな虫が生きることができるとあります。が、このように言える理由を次のように説明するとき、□に当てはまる言葉を、「植物」という言葉を使って十字までで書きなさい。

虫の種類によって、

が

決まっているから。

6 線4「食べる食べられるの関係」に合うように、次の□に当てはまる言葉を、文中からそれぞれ三字までで書きぬきなさい。

